

メンタルヘルスサポートチーム「なのはな」

1. 構成メンバー

多和昭雄副院長、高田幸千子副看護部長、廣常秀人精神科長、疇地道代精神科医、
出口孝志管理課長、松本政浩職員研修部係長、安尾利彦心理療法士

2. 概要

メンタルヘルスサポートチーム「なのはな」は、当院の職員のメンタルヘルス、中でも主に1次予防（メンタルヘルスに関する情報提供・教育研修・環境改善）と2次予防（メンタルヘルス不調の早期把握・早期対策）に関する企画、立案、評価、対策を行う組織横断的なチームである。2011年4月からの院内での立ち上げの準備期間を経て、2012年1月から本格的な活動を開始した。

チームの愛称である「なのはな」は、菜の花の花言葉「豊かな日々」「快活」に由来しており、「職員一人ひとりが心豊かに、生き活きと働くための職場づくりをサポートしたい」という願いが込められている。

「なのはな」がこれまでに取り組んできた主な活動は大きく分けて、1) 職員からの個別相談、2) チームの広報と情報提供、3) 教育研修、4) 危機介入、5) 健康診断時のセルフチェックの実施、6) 各部署訪問による労働環境改善の働きかけ、以上6つである。

- 1) 職員からの個別相談：相談窓口を設け、本人およびその上司や同僚からの相談について、精神科医1名と臨床心理士1名が対応している（精神科診療や心理療法の提供はせず、コンサルテーションのみとしている）。
- 2) チームの広報と情報提供：ネームプレートに入れることができる、相談窓口を記載したカードを作成した。また院内広報誌で連載を行っている。
- 3) 教育研修：新入職者オリエンテーション時の講義に加え、ラインケア研修、セルフケア研修を実施している。また今年度は研修医レクチャーの中で「なのはな」について情報提供を行った。
- 4) 危機介入：入院患者の自殺が発生した際、現場に暴露された職員の個別面談、グループミーティングを行った。また発生部署の職員全員に対して、急性ストレス障害に関する情報提供を行った。
- 5) 健康診断時のセルフチェックの実施：問診票とともに仕事の疲労度セルフチェックを配布し、任意・匿名で回収した。例年院内報で集計結果を周知しており、今年度は希望者には書面でフィードバックを行った。
- 6) 各部署訪問による労働環境改善の働きかけ：了解が得られた部署に対して、職業性ストレス簡易調査票によるアンケートを実施し、その結果をもとにその職場の職員が主体的に改善点を検討・実施し、再度同じ調査票を用いて改善度を評価した。

今後もこれらの活動について継続的に実施と評価を行うことが必要である。また、昨年度は総合病院精神医学会において、上記活動の一部についてまとめた研究発表を行った。今後も研究発表等に取り組んでいく予定である。

【2015年度 研究発表業績】

B-4

疇地道代、安尾利彦、高田幸千子、松本政浩、出口孝志、廣常秀人、多和昭雄：総合病院職員を対象としたメンタルヘルス支援活動と課題。第28回日本総合病院精神医学会総会、徳島、2015年11月27日

B-8

安尾利彦：健康管理・メンタルヘルスについて。大阪医療センター新採用職員研修、大阪、2015年4月2日

疇地道代：なのはなの紹介。平成27年度新採用臨床研修医オリエンテーション、大阪、2015年4月24日

廣常秀人：(司会) 大阪医療センター安全衛生委員会主催ラインケア研修「～身近な事例から知るラインケアの実際ーああ実感～」(演者：夏目誠)、大阪、2015年6月22日

安尾利彦：ストレスとは。大阪医療センター看護部1年目研修、大阪、2015年6月8日

安尾利彦：セルフケアとは。大阪医療センター看護部1年目レジリエンス研修、大阪、2015年6月8日

安尾利彦：グループファシリテーション。大阪医療センター看護部1年目レジリエンス研修、大阪、2015年6月8日

安尾利彦：ストレスとは。大阪医療センターメンタルヘルスサポートチーム「なのはな」主催セルフケア研修、大阪、2015年11月12日

安尾利彦：セルフケアとは。大阪医療センターメンタルヘルスサポートチーム「なのはな」主催セルフケア研修、大阪、2015年11月12日

安尾利彦：グループファシリテーション。大阪医療センターメンタルヘルスサポートチーム「なのはな」主催セルフケア研修、大阪、2015年11月12日

安尾利彦：メンタル不調者への気づきと対応。副看護師長のためのメンタルヘルス勉強会、大阪、2015年11月12日